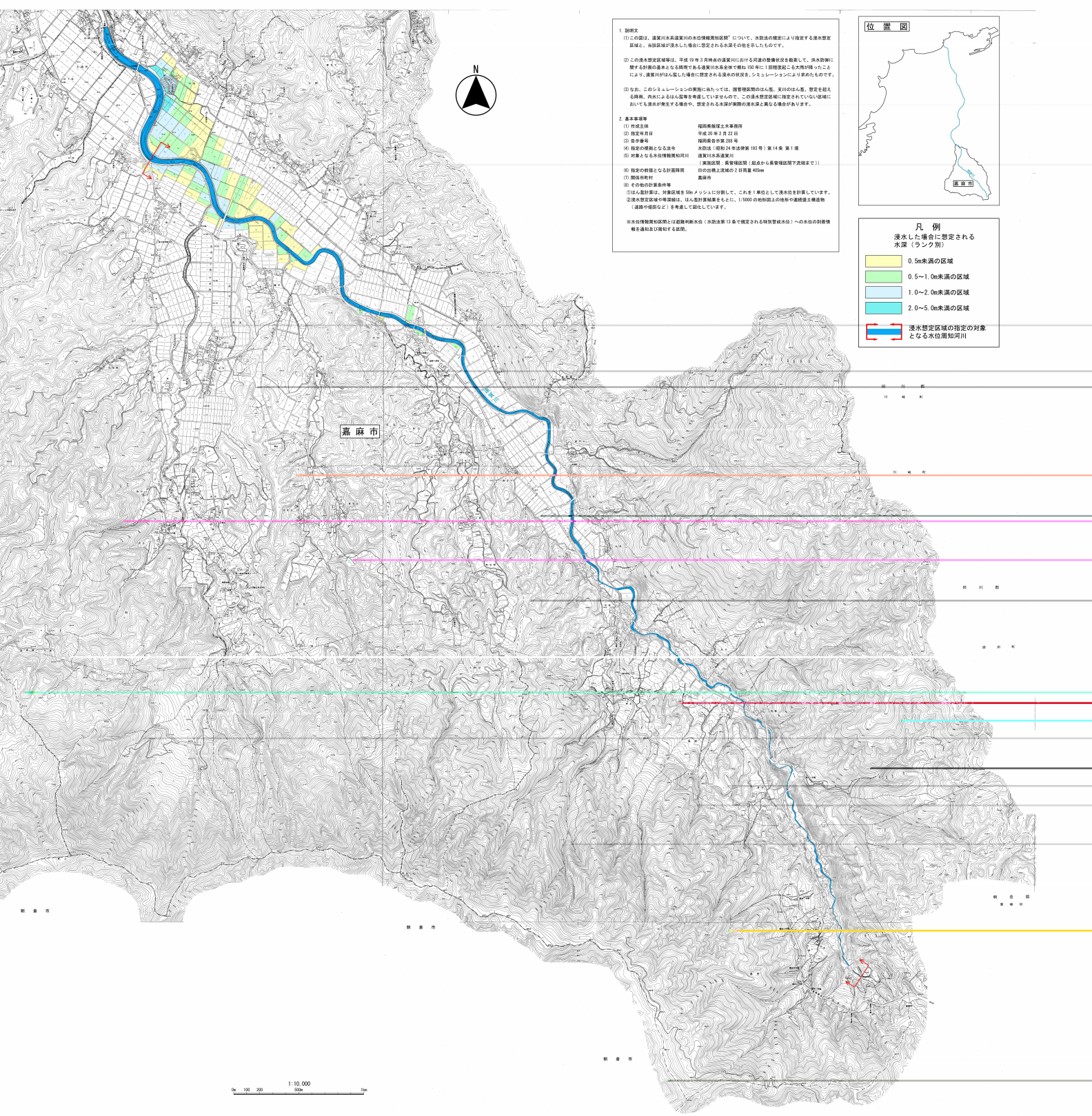


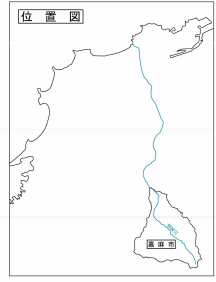
遠賀川水系遠賀川浸水想定区域図



1. 図解文
 (1) この図は、遠賀川水系遠賀川の水位情報通知区間[※] について、水防法の規定により指定する浸水想定区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深その他のものを示したものです。
 (2) この浸水想定区域等は、平成19年3月時点の遠賀川における河道の整備状況を勘案して、洪水計算に関する計算の基準となる既設である遠賀川洪水全体で概ね100年に1回程度起こる大雨が降ったことにより、遠賀川が氾濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより算出したものです。
 (3) なお、このシミュレーションの実施に当たっては、国管理区域のほんご、支川のほんご、想定を越える降雨、内河川および内海を考慮して算出しています。この浸水想定区域は指定されていない河川においても浸水が発生する可能性や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項等
 (1) 作成主体 福岡県飯塚土木事務所
 (2) 指定年月日 平成20年2月22日
 (3) 告示番号 福岡県告示第200号
 (4) 指定の根拠となる法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条 第1項
 (5) 対象となる水位情報通知区間 遠賀川水防課管内（実況調整 管理区域（起点から長瀬管理区間予定区間まで））
 (6) 指定の前提となる計算降雨 日の出から上流域の2日雨量400mm
 (7) 調査対象地 高瀬町
 (8) その他の計算条件等
 ①はん濫計算は、対象区域を50mメッシュに分割して、これを1単位として浸水高を計算しています。
 ②浸水想定区域の水深は、はん濫計算結果をもとに、1/5000の地形図上の地形の連続性に基づき、当該河川周辺に必要に応じて調整しています。

※水位情報通知区間は総延長約13.5kmで指定される特別管理水位[※]への水位の到着情報を通知する区間。



凡例
 浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5～1.0m未満の区域
- 1.0～2.0m未満の区域
- 2.0～5.0m未満の区域

浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川

1:10,000
 0m 100 200 500m